



足立区議会議員

長谷川たかこ

区議会
レポート

<http://takahase.weblogs.jp/>

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部卒、青山学院大学大学院法学研究科修了。

15歳と12歳の2人の娘の子育て真っ最中。

現在、足立区議会議員(2期目)。文教委員会、災害・オウム調査対策特別委員会、足立区議会民主党政調会長をつとめる。『行政まちづくりへのカラーユニバーサルデザインの導入』で第5回マニフェスト大賞最優秀政策提言賞受賞。長谷川たかこの政策提言が、全国でトップレベルの取り組みとして進んでいます。

2013年・春号

発行：足立区議会議員 長谷川たかこ

〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1

TEL/FAX 03-6380-6682

E-mail: info@takahase.com

高齢者・女性・子ども…

誰もが安心して暮らしやすい街に

新しい一年が始まり、皆様におかれましては、それぞれの抱負を胸に、新しいスタートをされたことと思います。本年も「誰もが安心して暮らしやすい足立区」を目指して元日から区内を駆け巡っています。とりわけ高齢者や女性、子供など、社会的に弱い立場の人たち、いわゆる生活弱者と呼ばれる皆さんの声を基に、区議会議員として2期6年の間、さまざまな政策提言を議会で行ってきました。

財政や地域経済、治安など、どれも大切な課題ですが、それと同じく「社会的に弱い立場の人たちの声」を区政に届けることも、区議会議員として大切な役目の一つだと考えています。

中には政策として、実際に実現したもの、また実現に向け進んでいるものもあります。

全国的にも乏しい、まだ実現に至っていない、やらなくてはならない施策はたくさんあります。皆さんの心に寄り添いながら、政策実現という形で、足立区から全国を変えていく原動力を皆さんと一緒に築いていきたいと思います。

今年も、皆様と一緒に足立区を「素敵な街」に変えていけるよう、全力で頑張ります！未来の足立区のために、一緒に変えていきましょう。

足立区議会議員

長谷川たかこ

足立区をよりよくするために、全国の自治体などの先進事例を研究しています

中国残留帰国者交流会 & 鹿浜団地自治会 納涼祭

足立区で生活する中国残留帰国者の数は、東京23区で見ても、江東区176名に続いて第2位の168名です。現在、鹿浜で行われている中国残留帰国者交流会も6回目となります。中国残留帰国者の皆様のコミュニティの場を足立区全域に広げ、帰国者の皆様が地域の皆様と安心して暮らせる環境づくりを目指して取り組みをさらに進めていきたいと思います。



文教委員会：秋田県秋田市立桜小学校の視察

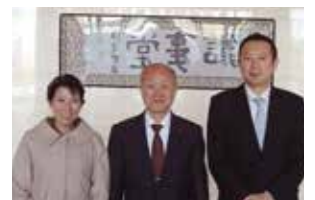
秋田県と言えば全国的に小学校の学力がナンバー1の県です。学校では子ども達にしっかりと学習をさせ、テスト分析をし、宿題を課し、ノート点検などの学力保障の見取りを行っています。

経済的格差で学力の差が生じるのではなく、質の高い授業を提供すれば、ある一定程度の学力が子ども達に必ず付くものだということを秋田の小学校は立証しています。



佐賀県庁「発達障がい者支援施策」の視察

佐賀県庁では、現在、発達障がい支援施策について、全国的に先進的な取り組みを行っています。県内の保健福祉圏域ごとの7か所に支援体制が整備されており、個人のライフステージに応じた一貫した支援策と発達障がい支援センターとの密な連携を行っています。県内のどこに住んでも生涯にわたるきめ細やかな、途切れの無い支援体制を実現するものです。足立区にも導入し、さらに先を行く取り組みにつなげていきたいと思っています。



【視察訪問先】福島県、秋田県、青森県、神奈川県、兵庫県、三重県、岡山県、世田谷区、新宿区、江東区、練馬区、大田区、流山市、日野市、仙台市、石巻市、横浜市、大和市、札幌市、旭川市、柏崎市、魚沼市、浜松市、寝屋川市、神戸市、真面目市、伊丹市、京丹後市、京都市、多治見市、岐阜市、熊本市

第5回 マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞受賞

『行政・街づくりへのカラーユニバーサルデザイン(CUD)の導入』

Manifesto Awards



私が議会で提案し、足立区で取り組みが進んでいる「カラーユニバーサルデザインの導入」が第5回マニフェスト大賞(審査委員長：北川正恭氏)の最優秀政策提言賞を受賞いたしました。党派を問わず、全国から過去最高の1291 団体1540 件の応募がありました。

※ より詳しい内容や長谷川たかこの活動は、ホームページ(<http://takahase.weblogs.jp>)でもご覧いただけます。

2013年 長谷川たかこの抱負 今年も実績で勝負する！

みなさんの声を区政に届けます



議員として初志貫徹、常に、区民の皆さんの目線での政策提案を心がけています！財政・治安・福祉……。どれをとってみても大切な政策課題ばかりです。中でも、全国の自治体で先進的な取り組みとなった「行政・街づくりへのカラーユニバーサルデザインの導入」、東日本大震災の教訓を活かした「防災対策」なども重点課題の一つです。



ユニバーサルデザインに 配慮した街づくりを



いち早く足立区でのユニバーサルデザインの推進を訴え、お陰様で昨年はユニバーサルデザインを庁内横断的に進める「ユニバーサルデザイン担当課」が設置され、2012年9月の第3回足立区議会定例会で「足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例」が全会一致で可決されました。また2012年12月には、「足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例」が施行され、全庁的に取り組む体制がいよいよ整いました。今年も調査・研究を続け、さらにソフト、ハード両方の運用面での強化に力を入れていきます。この取り組みを軌道に乗せ、より大きなものにしていけるよう、さらに頑張っていきたいと思います。

これまでの取り組み

防災マップ配布(2008年)

(CUD認証マーク付きの全国初防災マップ)
カラーマップ足立やガイドラインやゴミの出し方分別表などにCUDが導入されています。



ユニバーサルデザイン担当課が新設

2012年4月に都市建設部に新設されました。

「足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例」が施行

2012年12月1日に施行されました。

「ユニバーサルデザインのまちづくり講演会」

2012年12月6日、区職員・区民・事業者向けに開催され、ユニバーサルデザインを窓口としている、もしくはこれから考えている他区の担当部署6区が参加(葛飾区・北区・新宿区・江東区・杉並区・板橋区)、民間企業3社、合計242名が参加。

今後の取り組み

- ・条例を推進計画に盛り込み、運用面の強化を図る
- ・足立区にUDモデル地区・施設を設置
(区役所本庁舎をUD対応へ)
- ・区民への普及・啓発活動
- ・足立区の先進的な取り組みを全国に発信
- ・区のプラス面を伸ばすプロモーションと情報発信を！

災害対策で安全な街を



防災体制に完璧はなく、つねに万全の態勢が求められます。初当選から議会で提案し、東日本大震災の教訓を未来へ繋げるべく活動しています。

昨年11月の足立区総合防災訓練では、より実践に即した訓練が行われています。また足立区では昨年度より荒川河川敷から第一次避難所に会場を移して、発災時の避難訓練を行っています。

公立小中学校9箇所を第一次避難所として開設、福祉避難所に指定した第二次避難所を福祉センター6箇所に設けました。さらに北千住駅での駅前滞留者対策訓練、逃げ出した動物を収容する動物救護所の設置訓練を生物園で行い、また災害時の役割に応じた各部の訓練対策などを足立区役所で行うなど、一斉に様々な会場での総合防災訓練を執り行いました。

これまでの取り組み

公立小中学校の防災無線の整備

全小中学校でFAX機も導入し、双方向で連絡できる無線機に変更されました。

防災センターの機能不全を想定した訓練

区役所アトリウムを使用した情報収集指令室設置訓練が行われました。

より具体的な避難勧告などの発令基準の策定

情報を正しく、かつ皆さんの行動につながる発令基準を求めました。

全小中学校での着衣水泳授業の実施

自由度のきかない水中での対処方法学習を提言、全小中学校で実施されました。

相互防災協定自治体の拡大

災害時には被災しなかった自治体とお互い助け合うことを提案、全国29自治体に広がりました。

今後の取り組み

- ・大規模災害で道路寸断時のアクセス道路の確立
- ・相互防災協定自治体との具体的な支援方法